

福井工業大学 後援会会報

Fukui University of Technology 2017

平成29年9月15日発行

55

福井工業大学
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号
電話(0776)29-7864
FAX(0776)29-7891
E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp



・金井学園体育館竣工落成式 [2P]

特集 羽ばたく学生たち [3P] クラブ・同好会紹介 [4~5P]

- ・オーストラリア語学研修のご案内 [6~7P]
- ・平成29年度 福井工業大学後援会 定期総会報告 [8~10P]
- ・平成29年度 地区懇談会報告 [11P]
- ・キャリアセンター就職支援課 [12~13P]
- ・大学院進学について [14~15P]
- ・研究室を訪ねて [16~18P]
- ・ふくいPHOENIXプロジェクト [19P]
- ・学内奨学金制度、学内情報 [20~22P]

主要室の仕様

■アリーナ

(床面積3,563.12㎡、天井高12.5m)

- ・バレーボールコート
試合時5面、練習時7面
- ・バスケットボールコート 2面
- ・バドミントンコート 4面

■2階ランニングコース

・1周250m(直線部100m)

■1階多目的室(63.88㎡)

音響設備

■2階トレーニングルーム

(107.69㎡)

秋季保護者個別懇談会のご案内 [23P] **参加申込期限は9月29日(金)です。**

金井学園体育館竣工



平成27年7月より進めていた本学園 第一体育館耐震改築工事がこの度竣工の運びとなり、施設名を「金井学園体育館」と改称して、平成29年9月1日（金）竣工落成式を挙行了しました。

本体育館は北陸最大級のアリーナ面積（3,563.12㎡）を有し、デザインは「無機的丘陵の融和」をテーマに従来の体育館の概念を払拭する、大胆な曲面の金属屋根が特徴です。

竣工式には、設計・施工関係者、学園関係者ら約40名が参列し、金井兼理事長らにより玉串が奉奠されました。

落成式は、福井県知事 西川一誠様、参議院議員・福井工業大学名誉総長 山崎正昭様を始めとする多くの来賓の方々にご出席いただき、テープカット等により体育館の完成を祝いました。

また、体育館落成に際し、書道家 吉川壽一様に揮毫していただいた書画のお披露目も行われました。





RoboCup

羽ばたく学生たち

二〇五〇年、自律型二足歩行ロボットのサッカーチームが、「人に危害を加えることなく知的に動いて、サッカーワールドカップの優勝国チームに勝つ」ことを目指し、一九九二年に日本の研究者たちによって発足したロボット工学と人工知能科学の世界プロジェクト「ロボカップ」の世界大会が、今年は七月二十六日から四日間、名古屋で開催されました。二〇〇五年の大阪大会以来の日本開催です。近年はサッカー以外にもレスキューロボットや家庭ロボット、荷物仕分けロボット、ジュニア育成などに裾野が広がり、四十カ国以上から三千人以上の競技参加がありました。

本学の経営情報学科では、「授業で学んだプログラミング技術の実践の場」と考え、二〇〇七年から学生プロジェクトとして、「サッカー3次元シミュレーションリーグ」(予めプログラミングされたロボットがコンピュータ上の



仮想サッカーフィールドで11対11のサッカーゲームを行います)への参加を学生

チーム「FUTURK」で始めました。一昨年と昨年の世界大会では準優勝し、今年はロボカップチャンピオン



(世界チャンピオン)を目指して学部3年生岩永知裕君と二年生の富田栞生君の二名が本大会に挑みました。ただ、今回は日本開催のため、FUTURKはリーグチェアー(運営委員)を任せられ、高性能デスクトップパソコン八台を高速ネットワークでつないだ世界大会仕様のサーバー構築から始まり、リーグ運営や試合のレフリーなどを行いながら大会期間中のプログラム開発や変更でした。

今年は世界から十六チームが参加資格を得て、最終的に九カ国十三チームが出場しました。試合は前後半五分ずつで、FUTURKは順調に勝ち上がりましたが、七月三十日(日)の午前から行われた準決勝で magmaOffenburg (ドイツ) と対戦し延長後半にゴールさ

れ、0-1で負けました。同日、午後からの三位決定戦で、RoboCares (アメリカ) と対戦し、3-0で快勝し世界第三位で今年の大会を終えました。

岩永知裕 (経営情報学科3年)

RoboCup 2017 Nagoya に出場して、技術が進化するスピードを感じました。去年の大会では、どのチームも完成していなかった素早い動作からの精度の高いボールキック(クイックキック)が、今回は複数のチームで実装され、私たちのチームもさらにプログラムを進化させる必要があると感じました。また、FC Portugal (ポルトガル) のチームは、私を取り組んで今大会までに完成させられなかったゴールキーパーの動作を人工知能によって作り上げ、自分の実力不足を痛感しました。私にとっては次の世界大会が最後となるため未完成的な種々の動作の開発に取り組んでいきたいです。

富田栞生 (経営情報学科2年)

私は今回が初めての世界大会参加でした。先輩が残したプログラムの修正

や追加をしましたが、思うようなサッカーエージェントの動作にならず、大会では組み込まれませんでした。例えば、ファウルを減らす動作のプログラムでは、ファウルを減らすことができて、ボールへ向かうのが遅くなるなど他の部分に悪影響が生じました。試合の運営とレフリーを担ったため、担当したリーグの全試合を見ることになり、今後の課題がいくつも見つかりました。次の一年に向けて、今回、うまくいかなかった部分に取り組みしていきたいです。

うまくいかなかった部分に取り組み



アルティメット 研究会

あなたはアルティメットという
スポーツを知っていますか？

アルティメットとは英語で「究極」という意味で、フライングディスク競技の中で走る・投げる・跳ぶといった様々な能力が要求されることから、名前の通り究極のスポーツであるということから名付けられました。1968年に高校生であったジョエル・シルバーが考案し、アメリカ合衆国ニュージャージー州メーブルウッド市のコロンビア高校で最初のゲームが行われた7人制のチームスポーツです。男女関係なしに混合で出来るスポーツです。そして2001年からワールドゲームズの公式種目でもあります。ルールは100m×37mのコート内で争われ、コート両端から18m以内はエンドゾーンと呼ばれる。エンドゾーン内でディスクをキャッチすると1得点とされる。1チーム7人で交代は得点が入った時に何人でも何回でも自由に交代

できます。試合時間の中でどちらかの

チームが予め定められた点数(30分なら11点、40分なら13点)を取るまで試合が続く、ただし、国内の大会では試合時間が定められていることもあります。ディスクが地面に落ちるとターンオーバー(攻守交代)になります。スローワーは、マーカーにつかれてから10秒以内(マーカーがストールカウントをする)にディスクを味方にパスしなければいけないカウントが0になるとターンオーバーになります。

反則は、身体の接触、ディスクを持った後に歩いたり軸足が浮いたりずれたりするとトラベルになります。

以上が大きなアルティメットの説明でした。興味を持たれた方は、是非YouTube等で確認してみてください!!



入部のきっかけと今の自分

私は、小学校から高校までの約10年間で野球部に所属していました。そのため、大学でも何か体を動かせる部活やサークルに入りたいと考えていました。そんな時、大学の部活動勧誘でアルティメットの動画やチラシを見て興味が湧いてきました。最初は名前すら聞いたこともなく、どんなスポーツなのか全く見当が付きませんでした。さらに野球やサッカー、テニスなどメジャーなスポーツにはない魅力や面白さがあると感じ入部しようとして決意しました。

実際、練習に参加しやってみると、予想以上に難しくディスクを上手く投げるのに苦労しました。やはり自分には向いていないのかなと諦めようとした時もありました。

入部しました。それでも先輩方のプレーを見て憧れたり、たまにディスクを上手く投げられたりした時の喜びは大きく、続けていきたいと思うようになりました。練習をしていくうちに試合での作戦や戦術、チームでの連携プレーなど、決して簡単なスポーツではないことを知り、アルティメットの奥深さにも気づくようになりました。

アルティメットをやるたびに、面白さや難しさを感じる一方で、取り組んでいく過程が、想像していた大学生像であり、毎日やりがいがある楽しい大学生活を送れています。

アルティメットの魅力・楽しいこと

私がアルティメットの中で一番カッコイイと思うのは、アクロバティックなプレーです。

必死にディスクを追いかけて、ダイビングキャッチする姿や、高い位置のディスクを追いかけて相手より高く飛び奪う姿はとてもカッコイイです。

しかし、ゴールを取る人の前には必ずそのアシストをする大切な存在が必要となります。アルティメットではゴールを決めた人が注目されますが、私はそのアシストをしたスローワーに惹かれました。

た。だから私は今、パスをうまくまわせるよう、日々スロー練習を頑張っています。

また、アルティメットには様々な投げ方(スロー)があります。サイドスロー、ハンマースロー、スクーパーなどです。アルティメットの試合では私達の思い通りディスクをまわすのは難しいからこそ、自分の思い通り投げることができ、点数を取ることができたらとても楽しいです。

アルティメットがどんなスポーツか想像することはできましたか？さすがに言葉だけではあまり伝えられません。少しでも多くの方にアルティメット競技に興味を持っていただき、是非その目で実際にアルティメットをみてもらいたいです。

電気電子工学科 2年 政田 智啓

現在のアルティメット部の状況

創部は、現4年生の方がまわりの友達を集めて作ったことがきっかけだと聞いています。

今では、4年生8人、3年生7人、2年生8人、1年生12人、総勢35人の団体となりました。

決して強いというわけではありませんが、みんなが楽しく笑顔でプレーし、外部の方からの指導を受けながら日々奮闘

No.	学年	役職	学生氏名	所属学科
20	2		牧野 公恒	建築土木工学科
19	2		七里 敦哉	機械工学科
18	2		増崎 紘平	原子力技術応用工学科
17	2		政田 智啓	電気電子工学科
16	2		岩城 諒介	電気電子工学科
15	3		川野輪貴代至	経営情報学科
14	3		山川 亮	環境・食品科学科
13	3		西村 大樹	建築土木工学科
12	3		黒田 拓哉	機械工学科
11	3		植田 琢己	機械工学科
10	4		本田 祥梧	原子力技術応用工学科
9	4		岩下 紘輝	機械工学科
8	4		姉川 凌雅	建築生活環境学科
7	4		渡邊陽一朗	経営情報学科
6	4		福嶋 勇太	経営情報学科
5	4		長井 拓弥	経営情報学科
4	4		堤 将剛	電気電子情報工学科
3	4		山本 航平	経営情報学科
2	3	副主将	東 泰世	建築土木工学科
1	3	主将	三箇 翔頼	建築土木工学科

No.	学年	役職	学生氏名	所属学科
35	1		三原 大樹	スポーツ健康科学科
34	1		朝倉 貴嗣	デザイン学科
33	1		森下 友登	環境・食品科学科
32	1		畠山 拓也	環境・食品科学科
31	1		上見 湧輔	環境・食品科学科
30	1		酒井 涼成	電気電子工学科
29	1		山本 健太	建築土木工学科
28	1		伊藤 凌	建築土木工学科
27	1		山本 温也	機械工学科
26	1		宮下 蔵太	機械工学科
25	1		南 響紀	機械工学科
24	1		竹内幹希也	機械工学科
23	2		瀧本 大輔	デザイン学科
22	2		一色 亮佑	環境・食品科学科
21	2		朝倉 富大	経営情報学科

中です。私たちは、まだまだ一緒に戦えるメンバーを募集しています。週3回練習をしており、月、木曜日は18時30分～21時、土曜日は午前中に練習しています。

一緒に僕たちとアルティメットというスポーツを楽しみませんか？

デザイン学科 2年 瀧本 大輔





オーストラリア

語学研修のご案内

平成三十年二月下旬から三月下旬にかけて、提携校であるサザンクロス大学において四週間の語学研修を実施します。本研修では、大学の語学センターで英語研修を受講する他に現地の家庭でのホームステイを通じて生きたオーストラリア文化についての理解を深めます。つきましては、是非とも本研修へのご子弟、ご子女の参加をご支援下さいますようお願い致します。

期 間／平成三十年二月二十四日(土)～平成三十年三月二十五日(日)

研修先／サザンクロス大学(ニューサウスウェールズ州リズモア市)

募集対象／全学部一～三年生(四年生は対象外)

募集人数／二十名

引率者／本学教員

研修費用／約五十五万円(研修費用の一部を後援会で補助いたします)

申込期間／平成二十九年十月二日(月)～十一月十五日(水)まで

申込み先／インターナショナルセンター(FUTタワー四階)

※研修費用は参加人数と為替レートによって金額が多少変わる場合がございます。

※申込者が少数の場合は研修を実施しないこともあります。

※単位認定：研修を修了すると以下の科目が英語科目(選択)の単位として認定されます。

一年生：「海外語学研修Ⅰ」(四単位)、二年生：「海外語学研修Ⅱ」(四単位)

三年生：「海外語学研修Ⅲ」(四単位)

但し、単位認定は翌年度前期となります。よって、履修制限判定時の単位には含まれません。また、各科目を既に取得済みの場合、再度認定はされません。





参加者の声

語学研修を通して日本とオーストラリアの文化の違いを肌で実感できた。もっと色々な国を訪れ日本との文化の違いを追究し、英語力の向上に努めていきたい。本当に今回の海外語学研修に参加してよかった。

(Hさん・27年度オーストラリア研修)

4週間という短い期間の間でオーストラリアの文化、生活習慣、そして海外のキャンパスライフを経験する事が出来た。今回の研修で「積極的に行動すること」が最も重要であると改めて考えさせられた。一生忘れる事のできない素晴らしい語学研修となった。

(Yさん・26年度オーストラリア研修)

私は今回の語学研修で本物の英語を学んだだけでなく、歴史や文化・社会ルール・食べ物など様々な事を体験できました。短い期間でしたが、家族から離れた事が無い自分の中で、何かが変わった様に感じています。この経験は今後の私にとって重要な出来事になると思います。

(Mさん・27年度イギリス研修)

【研修概要】

※一週間のスケジュールは次の通りです。

- ・月／金／サザンクロス大学語学センターにて英語研修（午前九時～午後三時）
- ・土・日／ホストファミリーとの自由行動

※週に二～二日は学内外で次のような異文化体験学習を実施します。

- ・コアラ病院見学（サザンクロス大学構内にあるコアラの保護施設を見学します）
- ・カンガルー野生動物園見学（カンガルーやコアラなどオーストラリア固有の動物と触れ合います）
- ・現地の学校見学（地元の小学校を訪問し、書道や折り紙などを通じてオーストラリアの小学生と交流します）
- ・サーフィン体験（オーストラリア最東端のバイロンベイでサーフィンや観光などを行います）
- ・キャンプ体験（風光明媚な都市バリナで一泊二日のキャンプを行います。ロッジに宿泊し星空観測に行ったり、海岸に朝日を見に出かけたりします）

※研修最終日には修了式があり、語学センターから一人ひとりに修了証が授与されます。



【問合せ先】

福井工業大学 インターナショナルセンター

Email / international@fukui-ut.ac.jp

TEL / 0776-29-7863

平成29年度 後援会定期総会報告について

平成二十九年五月二十七日（土）に福井工業大学福井キャンパスにおいて平成二十九年年度福井工業大学後援会定期総会が開催されました。

総会には、森島学長をはじめとする大学役員の出席を賜り、学長挨拶では、森島学長より、本学の教育方針や取組を含めた本学の説明や、大学を取り巻く社会的環境等についてお話がありました。

議案審議前に酒井議長より今年度、総会員数二二一六名の中、委任状八四六名、総会五十名の出席をもって、後援会規約第九条第四項により総会成立の報告がされました。

報告議案では、第一号議案「平成二十八年年度事業報告」、第二号議案「平成二十八年年度収支決算報告」について一括して事務局より説明が行われました。

併せて橋本監事より、会計が適正に処理されていた旨、監査報告があり両議案とも満場一致で承認されました。

協議議案では、まず、第三号議案「役員選出」が審議されました。平成二十八年年度をもって会長・副会長が任期満了となることに伴い、今年度は、新たに会長一名・副会長二名・監事一名、新任理事十一名、計十五名の方々が役員会にて選出されたことが事務局より報告され、満場一致で承認されました。

会長に就任された西澤氏より、就任挨拶として「歴代の後援会の取組みを踏まえ更なる学生・保護者サポートや大学運営への寄与を目的とした後援会事業の企画立案を検討していきたい」と抱負を述べられました。

第四号議案「平成二十九年年度事業計画（案）及び収支予算（案）」での審議では、事業計画（案）として「保護者懇談会事業」「学生活動支援事業」「広報・通信事業」についての年次計画の説明が行われました。

今年度、保護者懇談会事業の一環で実施している地区懇談会の会場について見直しを図り、従来の地区会場に滋賀会場を追加し、総会日時点で昨年の参加総数を上回る申込を受付けていることが事務局より説明されました。

また、昨年十月より試験的に実施した学園レストラン無料ランチチケット事業については、継続事業としての可否について、役員会にて学生のチケット受取率等を含め審議・検証することとなっているため、今年度の実施は行わないことが報告されました。

収支予算（案）では、例年どおりの事業実施に伴う収支予算であることが説明され、事業計画（案）、収支予算（案）は、満場一致で承認されました。全ての議案審議が終了したところで、平成二十八年年度をもって役員任期が満了となった十二名の方へ大学を代表し森島学長より感謝状、額縁が贈呈され、平成二十九年年度福井工業大学後援会定期総会が閉会されました。

平成29年度 福井工業大学後援会役員

会 長 山梨県 西 澤 徳一郎

副会長 福井県 橋 本 尚 一
監 事 福井県 中 上 弘 一

副会長 福井県 入 場 賢 則
監 事 福井県 中 屋 斉 明

理 事 福井県 藤 田 美津子
理 事 福岡県 坂 田 賢 子
理 事 福岡県 播 重 心 子
理 事 福井県 岡 田 博 子
理 事 新潟県 亀 山 元 文
理 事 京都府 大 原 弘 資
理 事 石川県 的 場 尚
理 事 兵庫県 柿 康 博
理 事 福岡県 久 島 美 紀
理 事 和歌山県 梁 村 晃 幸
理 事 新潟県 中谷内 美 昭
理 事 福井県 田 中 和 美
理 事 富山県 牧 野 恵 美
理 事 富山県 寺 部 静 祐

理 事 富山県 違 良 之
理 事 福井県 和 田 真 一
理 事 福井県 湯 浅 英 雅
理 事 福井県 東 川 千 里
理 事 福井県 家根田 文 代
理 事 福井県 杉 野 一 美
理 事 福井県 武 田 美 奈
理 事 福井県 竹 内 清 訓
理 事 福井県 上 田 厚 美
理 事 愛知県 佐々生 里 美
理 事 兵庫県 山 本 修 一
理 事 富山県 松 井 義 行
理 事 富山県 川 村 美 貴子
理 事 滋賀県 中 西 有

理 事 石川県 中 山 信 吾
理 事 福井県 齋 木 るい子
理 事 福井県 石 田 祥 美
理 事 北海道 内 藤 亜 美
理 事 岐阜県 山 中 温 美
理 事 岐阜県 元 尾 仁
理 事 三重県 小 島 香 緒
理 事 群馬県 富 沢 俊 文
理 事 石川県 元 田 理 香
理 事 石川県 山 口 美 保
理 事 富山県 柳 田 毅
理 事 福井県 田 中 勇
理 事 福井県 森 正三郎

（順不同）

平成29年度 収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

[収入の部]		(単位 円)		
項 目	前年度決算額	本年度予算額	差引	備考
会 費	13,627,500	16,500,000	2,872,500	
会 費	13,627,500	16,500,000		@7,500×2,200名
雑 収 入	246,285	250,000	3,715	
雑 収 入	246,285	250,000		預金利子、学園からの収入等
繰 越 金	15,741,139	10,625,054	△ 5,116,085	
前年度繰越金	15,741,139	10,625,054		
収 入 合 計	29,614,924	27,375,054	△ 2,239,870	

[支出の部]		(単位 円)		
項 目	前年度決算額	本年度予算額	差引	備考
会 議 費	470,500	500,000	29,500	
会 議 費	470,500	500,000		定期総会、役員会等諸経費
需 要 費	651,356	620,000	△ 31,356	
消 耗 品 費	71,766	120,000		目隠しシール等
通 信 費	395,990	400,000		会報発送、定期総会、地区懇談会案内発送等
印 刷 費	183,600	100,000		角2封筒
事 業 費	16,007,390	15,750,000	△ 257,390	
厚 生 補 導 費	2,052,400	850,000		新入生歓迎パーティー、インフルエンザ予防接種補助等
クラブ活動費	7,793,056	8,000,000		
英語留学支援費	1,184,000	1,500,000		
就 職 支 援 費	1,494,188	1,500,000		
地 区 活 動 費	2,125,346	2,500,000		
創立記念積立金	300,000	300,000		
会 報 発 行 費	1,058,400	1,100,000		年2回発行予定
慶 弔 費	50,000	50,000	0	
慶 弔 費	50,000	50,000		
旅 費	786,000	1,000,000	214,000	
旅 費	786,000	1,000,000		
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000		
雑 費	24,624	30,000	5,376	
雑 費	24,624	30,000		
予 備 費	0	8,425,054	8,425,054	
予 備 費		8,425,054		
支 出 小 計	18,989,870	27,375,054	8,385,184	
繰 越 金	10,625,054	0	△ 10,625,054	
次年度繰越金	10,625,054	0		
支 出 合 計	29,614,924	27,375,054	△ 2,239,870	

[積立金会計]		(単位 円)			
名 称	前年度残高	今年度積立額	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	2,101,268	300,000	0	2,401,268	

平成28年度 収支決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

[収入の部]		(単位 円)		
項 目	予算額	決算額	差 引	備 考
会 費	16,500,000	13,627,500	2,872,500	
会 費	16,500,000	13,627,500	2,872,500	
雑 収 入	250,000	246,285	3,715	
雑 収 入	250,000	246,285	3,715	預金利子、学園からの収入
繰 越 金	15,741,139	15,741,139	0	
前年度繰越金	15,741,139	15,741,139	0	
収 入 合 計	32,491,139	29,614,924	2,876,215	

[支出の部]		(単位 円)		
項 目	予算額	決算額	差 引	備 考
会 議 費	650,000	470,500	179,500	
会 議 費	650,000	470,500	179,500	定期総会、役員会等諸経費
需 要 費	748,000	651,356	96,644	
消 耗 品 費	100,000	71,766	28,234	事務用品
通 信 費	400,000	395,990	4,010	会報発送、定期総会・役員会等案内発送
印 刷 費	248,000	183,600	64,400	上記案内資料等印刷代
事 業 費	17,102,000	16,007,390	1,094,610	
厚 生 補 導 費	2,102,000	2,052,400	49,600	学食チケット、新入生歓迎パーティー運営費、インフルエンザ予防接種
クラブ活動費	8,000,000	7,793,056	206,944	地区大会、全国大会出場補助
英語留学支援費	1,500,000	1,184,000	316,000	海外語学研修、TOEIC団体受験補助
就 職 支 援 費	1,500,000	1,494,188	5,812	就活手帳配布、キャリアセンター事業
地 区 活 動 費	2,500,000	2,125,346	374,654	地区懇談会(春季・秋季)実施費用
創立記念積立金	300,000	300,000	0	
会 報 発 行 費	1,200,000	1,058,400	141,600	4月・9月会報発行
慶 弔 費	150,000	50,000	100,000	
慶 弔 費	150,000	50,000	100,000	
旅 費	1,000,000	786,000	214,000	
旅 費	1,000,000	786,000	214,000	式典等における役員移動費
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
大学祭補助費	1,000,000	1,000,000	0	
雑 費	30,000	24,624	5,376	
雑 費	30,000	24,624	5,376	
予 備 費	11,811,139	0	11,811,139	
予 備 費	11,811,139		11,811,139	
支 出 小 計	32,491,139	18,989,870		
繰 越 金	0	10,625,054	△ 10,625,054	
次年度繰越金	0	10,625,054	△ 10,625,054	
支 出 合 計	32,491,139	29,614,924	2,876,215	

[積立金会計]		(単位 円)			
名 称	前年度残高	今年度積立額	今年度取崩額	今年度末残高	備考
創立70周年記念積立金	1,800,936	300,332	0	2,101,268	

ごあいさつ

福井工業大学後援会

会長 西澤 徳一郎

後援会員の皆様におかれましては、益々のご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より後援会活動にご理解とご協力をいただきまことにありがとうございます。

五月の定期総会にて、後援会長を仰せつかりました西澤徳一郎と申します。一年間、精一杯務めさせていただきますので皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

さて、後援会活動は主に保護者懇談会事業、学生活動支援事業、広報・通信事業の活動を行っております。保護者懇談会事業では五月〜七月にかけて全六会場にて懇談会を実施し、お子様の大学での様子や成績、就職・進学などについて各学科の先生をはじめ学校関係者から話を聞ける貴重な機会でもあり、年々参加いただける保護者の方が増えております。学生活動支援事業では課外活動支援、大学祭への補助、就職活動に対する補助、TOEIC受験料補助などを行っています。広報・通信事業では後援会報の発刊およびホームページの更新を行い、大学行事の紹介、就職に関する情報提供、学生の活動報告などを行っています。

後援会ではお子様が福井工業大学でシンカ（進化＋深化＋伸化＋芯化＝真価）を発揮できるよう、さらにきめ細かい支援ができないか事業の見直しおよび新規事業の企画立案をして参りたいと考えております。今後とも後援会活動への皆様の一層のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



福井工業大学後援会

副会長 入場 賢則

後援会員の皆様におかれましては、日頃より後援会活動にご理解とご協力をいただきまことにありがとうございます。

本年度、福井工業大学後援会副会長に就任致しました、入場賢則と申します。保護者の皆様、学生の皆様のために、努めてまいりたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

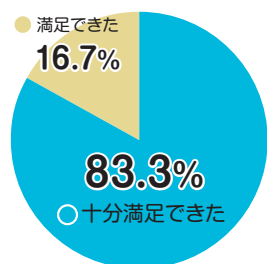
さて、私は、三十五年前現在の福井工業大学付属福井高校に在学をしておりました。高校時に見た大学生は、大人に見えましたが、今は親として学生の我が子を見るとまだまだ子供だなと思うところがたくさんあり、心配に感じることがあります。そう感じる中で、改めて大学を拝見し感じたことは、施設の充実はもちろんのこと、先生方が学生一人一人のことを考えてくださり、きめ細かく、手厚い教育サポートをして下さっていることに安心を感じました。

学生たちが、素晴らしい環境の中で、自主性を発揮して伸び伸びと勉学・クラブ活動・学生プロジェクトなどに励んでいる様子や活躍を拝見すると後援会として学生のために今何をすべきか、何ができるかを考えさせられます。後援会としてサポートできることは微々たることだとは思いますが、学生たちが様々な分野で充実した学生生活を送れるよう企画立案を行って参りたいと思います。皆様からのご意見も是非頂戴したいと思っていますので、気が付かれたこと等がございましたら、後援会事務局（庶務課）までご連絡いただけると幸いです。



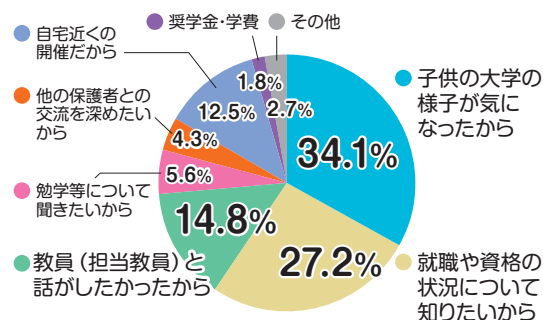
地区懇談会保護者アンケート (たくさんのご回答ありがとうございました)

Q 平成29年度 地区懇談会について



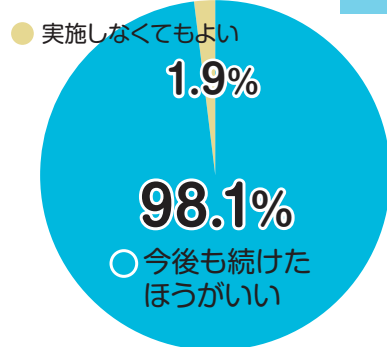
分からないところ・不満がある 0%

Q 地区懇談会へ参加を決めた理由



Q 昼食を兼ねた大学側・保護者との懇親会の実施について

抜粋



- ・丁寧でわかりやすく、大学も後援会も学生に向き合っていると感じて安心できた。
- ・大学の説明を十分に聞いてから個別懇談ができるから非常に良いと感じた。
- ・保護者同士つながりを持つことができ、悩みや問題への対処方法など経験談を共有できた。
- ・他の保護者、教員とより親密にお話ができ、大変有意義であった。
- ・先生方と直接お話できることは大変ありがたいのでぜひ続けてほしい。
- ・食事をしながら、とても楽しく過ごすことができた。
- ・先生や他の保護者との情報交換が参考になった。
- ・なかなか大学側の方との交流する場は少ないから良いと思った。
- ・大学での教育内容、就職支援などについての理解が深まった。
- ・子供からの話ではよく分からなかったことが多かったが、教員から直接大学のことが聞けたことで不安なことが減った。

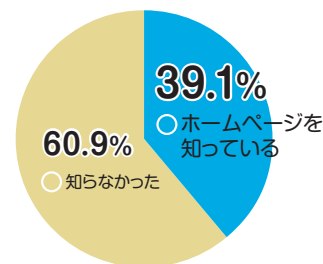
- ・同学年や同学科の方で、話が共有できてよかった。
- ・昼食時には大学関係者の方々、OBの方々のお話が聞け、待ち時間(面接)には保護者間での会話もあり良かったので、毎年参加させていただきたい。
- ・食事をしながら直接話をできることは、とても有意義だと思った。
- ・同じ学科で同学年の保護者の方々とお話しできてよい機会になった。日頃、お世話になっている先生ともお話しできてとてもよかった。
- ・学内での子供の様子や学校の取り組みがわかり大変良かった。
- ・教員と食事をしながらコミュニケーションができて有意義な時間を過ごせた。
- ・県外会場で実施をいただいたので、参加しやすかった。

Q 教員との保護者懇談について

抜粋

- ・事前にお知らせしておいた内容について、成績表や欠欠状況についてきちんと資料を準備しておいてくださっていました。
- ・丁寧に対応していただき、今後のサポートについても親身に考えてくださり大変ありがたかった。
- ・大学での子供の様子、学習の状況などがわからないので続けてほしいと思った。
- ・先生の真摯な対応に有難さを感じた。
- ・わかりやすく、丁寧に質問に回答をいただいた。
- ・大学での子供の様子、出席等々、事細かに説明をしてくださりました。
- ・事細かに丁寧に説明下さり大変満足できた。
- ・丁寧に説明して頂き、将来の準備まで教えて頂きました。
- ・成績表の見方について、学生生活について詳しく話を聞くことができた。
- ・家族とのやりとりではわからない事を知ることができた。今後の進め方の参考にもなった。
- ・先生から直にお話を聞かせていただくことで、就職等心配していることに対する理解が進みました。

Q 本学ホームページに後援会のページがあります。ご存知でしたか？



Q 学生サポートへの要望等について

抜粋

- ・体調変化時、気が付くことがあれば連絡を頂けるとありがたい。
- ・補助内容についての資料が保護者の手元にも届くようにしていただけるとありがたい。
- ・資格試験受験料の補助があればいいかと思う。
- ・充分サポートしていただけていると確認できました。
- ・資格試験をとるよう、勧めてもらっているようでありがたい。
- ・いろいろな資格試験の案内を授業などでも学生に伝えてほしい。
- ・就活や帰省時の交通費の補助を検討いただきたい。
- ・食堂に空席がなく、外のテラスで食事をとることが多いと聞いている。衛生面・冬場にむけた対策をとっていただけたらありがたい。
- ・活動的ではない学生についても、働きかけ頂けるとありがたい。
- ・病気になったときの病院の紹介をお願いしたい。

Q 大学への意見・要望等について

抜粋

- ・今後もきめ細やかなフォロー、対応を期待している。
- ・懇談会の案内が終了予定時刻、スケジュール等記載されていると良かった。
- ・資格を取ることに積極的に学生にすすめてほしい。
- ・学生食堂の充実 部活の遠征(県外試合等)のバスの活用を増やしてほしいです。
- ・健康診断の診断項目の増加。もっと詳しくやってほしい。特に3年の春の時。今の内容では就職内定時に出す病院で行う健康診断で困る場合あり。
- ・子どもと離れているのでホームページはよく見させて頂いてます。これからもよろしくお願いします。
- ・学生への目配り、心配りをして頂いて感謝しています。今後とも励ましてやって本人のやる気を伸ばしていただきたいと思います。
- ・地区懇談会で保護者向けに1時間程度の公開講座をしてはいいかがでしょうか。教員と話しながら専門教科の話をして思いました。
- ・就職サポート、よろしくお願いします。

※アンケートにご回答いただいたご意見を次回以降の運営・実施に反映できるよう検討させていただきます。

3年次



就職ガイダンス (年9回)

年9回の就職ガイダンスを実施しています。就職の準備にむけてきめ細かな指導を行っています。

third year student



都市圏就職活動セミナー就職EXPO

インテックス大阪・ポートメッセ名古屋等で開催される『就職EXPO』に参加します。大勢の学生が参加しています。



身だしなみ・メイクアップ講座

化粧品会社スタッフを講師に招き、就職活動に役立つメイクや面接で好印象を与える身だしなみ等をアドバイスしていただきます。



ヴォイストレーニング

現役アナウンサーを講師に招き、面接に必要な『伝わる声』『伝わる話し方』などをアドバイスしていただきます。



Career Center

4年次



学内企業合同説明会

3月に632社の企業をお招きして、金井講堂にて合同説明会を開催しています。

fourth year student



学内企業個別説明会

全国からたくさんの企業に來学していただき、企業個別説明会を開催しています。

高い就職率を誇る福井工業大学の就職支援

就職活動が本格化する3年次からは、実際の就職試験に万全の体制で臨むことができるよう、ガイダンスやセミナー、各種対策講座などを数多く実施しています。スキルアップに励む学生を応援するために、資格取得支援講座の開講やインターンシップなども行っています。さらに民間企業経験のある職員やキャリアカウンセラーなどの専門職員を学科ごとに配置し、就職担当教員と連携を図りながら、一人ひとりの学生にあった指導に取り組んでいます。

1年次

first year student



自己発見レポート活用ガイダンス

入学時に大学生基礎力調査を受けます。その分析結果を学んで、自分の強みと課題を知り、今後の学生生活に役立てる講座です。

2年次

second year student



業界研究セミナー

県内の企業を訪ねて、企業等の魅力を知り将来の就職に向けて視野を広げてもらうことを目的とした見学ツアーを行っています。

キャリアセンター就職支援課

(大学1号館3階)

キャリアセンター就職支援課は、学生の将来の夢を実現してもらうために、入学時から4年間を通してキャリア形成・就職支援に取り組んでいます。



希望職種や将来の設計など学生との会話から就職先のアドバイスをを行います。

就職実績

〈就職率=(就職決定者÷就職希望者数)×100〉

98.1%

平成26年3月卒

98.3%

平成27年3月卒

98.5%

平成28年3月卒

99.3%

平成29年3月卒

※平成29年5月1日現在

本学大学院 の ご紹介

大学院進学の勧め

文部科学省の平成29年度学校基本調査（速報値）によれば、高校卒業者の現役大学進学率は49・6％です。高校卒業者の2人に1人が大学に進学している状況下で、大学在学中の就職活動を有利に展開するためには何らかの差別化を図る必要があります。福井工業大学ではキャリアセンターを中心に学生のキャリア形成や資格取得支援に力を注いでいます。こうしたキャリア形成や資格取得に加え、社会に出てからの活躍の場をさらに広げるための選択肢として大学院進学があります。平成5年度と平成25年度における大学卒業生および大学院修了者の就職動向の比較を文部科学省のWebサイト「参考URL①」で見ることができ、製造技術者に占める修士課程修了者の割合は平成5年度（22・5％）から平成25年度（50・4％）の20年間で倍増しています。全国平均で理工系学部の大卒卒業生の約4割が大学院に進学している現状を考えると、今後製造技術者に占める大学院修了者の割合は増えることはあっても減ることはないと言えます。本学では、学生自身の努力や卒業生の企業での活躍等により、99・3％（平成29年3月卒業生実績）という全国レベルでもトップクラスの就職率を誇っています。就職先で長年にわたって働く

ためには、自分で研究開発した製品が社会を支えている、プロジェクトリーダーとしてチームをまとめているなどの達成感や満足度が、より大切であると言えます。ご子息・ご息女が製造技術者や研究開発者として充実感を抱きながら、他の大学院修了者と同じ土俵で互角以上に渡り合えるように大学院進学をお勧めします。

本学大学院のご紹介

本学大学院の工学研究科には、応用理工学専攻と社会システム専攻の2専攻が設置され、いずれも博士前期課程（修士課程、2年間）と博士後期課程（博士課程、3年間）が設けられています。各専攻には改組前の学部学科に対応したコースがあり、学部からの一貫教育によってより高度な専門知識と技術を身につけることができます（本学大学院の構成については本学ホームページも御覧下さい）。博士前期課程では、2年間で30単位を修得することが修了要件の一つとなっています。学部（4年間で124単位修得）に比べてゆとりがあるように感じられるかもしれませんが、これは大学院では研究に取り組むことが前提になっているからです。研究活動を通して、社会で役立つ論理的思考力や課題解決能力、さらにはプレゼンテーション能力を高めていきます。本学大学院では研究業績等によって在学期間を短縮することもでき、最短3年間で博士（工学）の学位を取得することも可能です（詳しくは学務課にお問い合わせ下さい）。また、大学院学生にはティーチング・アシスタント（TA）として実験や演習等の教育補助業務を依頼しています。TAによる補助業務は、教えることを通して自ら学ぶという教育的配慮の下に行われているものであり、TAを経験することによって実力が向上し、人間的にも大きく成長することになります。

進学のための経済的支援

学部の4年間に博士前期課程の2年間が加わるとなる経済的な負担を懸念されることと思います。本学では、大学院入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を減免する大学院進学奨励奨学金制度があります。第1種は本学学納金50％減免、第2種は本学学納金と国立大学大学院標準額（授業料）の差額を減免します。さらに、本学では大学院入学料が不要なため、入学初年度は国立大学大学院に比べて入学料（282,000円）の分だけ安くなります。博士後期課程では、平成30年度入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を100％免除する大学院進学奨励奨学金制度（本学学部卒業または本学大学院博士前期課程を修了していない者は、初年度のみ設備充実費年額170,000円が必要です）を導入し、進学のための経済的支援をさらに拡充します。また、前述したTA業務では一人当たり月額4～5万円支給されますので、学納金や、生活費を賄えることとなります。就職後の初任給も前期課程修了者と学部卒業生とでは月額で2～3万円の差がありますので、大学院進学に要した費用は比較的短期間の内に取り戻すことができると言えます。

大学院で過ごす年月は密度が高く、極めて有意義です。専門技術者として研究開発部門で活躍するというご子息・ご息女の希望を叶えるために、保護者の皆様方には本学大学院については是非一考下さいますようお願い申し上げます。

参考URL① http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm

応用理工学専攻

(博士前期課程／博士後期課程)

電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5コースを設置し、各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成。博士後期課程では、基幹あるいは先端理工学分野における目覚ましい科学・技術の発展に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を育成します。

電気電子情報工学コース

電力工学、電子材料、デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学の各分野の教育と研究を行い、エネルギー、半導体、デバイス、情報技術などの広い領域で革新を続ける電気電子情報工学分野の研究開発に貢献できる人材を育成します。

宇宙情報科学コース

宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を行い、宇宙空間を利用する時代に対応できる人材を育成します。

機械工学コース

材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を行い、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学の分野で活躍できる人材を育成します。

環境生命化学コース

応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学の各分野の教育と研究を行い、資源・エネルギー・地球環境・食糧問題等、人類が直面している重要課題の解決や安全で豊かな循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

原子力技術応用工学コース

原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を行い、原子力発電技術分野で高度な専門知識・技術を身につけた人材を育成します。

社会システム学専攻

(博士前期課程／博士後期課程)

土木環境工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4コースを設置し、各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成。博士後期課程では、建築や社会基盤の計画・調査・設計・施工・維持管理、デザインによる生活文化や生産・環境・情報の価値創造、プロジェクトマネジメントおよび望ましい情報社会の構築に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を育成します。

土木環境工学コース

土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学の各分野の教育と研究を通じて、社会基盤施設の計画・施工・維持管理および自然環境の保全を考究し、安全・安心な社会の構築に寄与できる人材を育成します。

建築学コース

建築計画・意匠、建築設計、建築環境・設備、伝統木造建築、建築構造工学の各分野の教育と研究を行い、個々の建築の個性とコンセプトおよび都市・地域社会のコンセプトとの調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に貢献できる人材を育成します。

デザイン学コース

生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の実践的な教育と研究を行い、生活・技術・文化・芸術などの理解の上に、豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を養成します。

経営情報学コース

高度情報社会に対応した企業経営および情報通信技術に関する教育と研究を行い、望ましい情報社会の構築に向けて積極的に提言し、貢献できる人材を育成します。

大学院についての問い合わせ：入学課／☎0120-291-780

「研究室を訪ねて」

磁気力制御技術の基盤技術産業への挑戦

原子力技術応用工学科 教授
西嶋 茂宏



「基盤技術産業」とは、「ものづくり基盤技術振興基本法施行令」で指定されている技術をベースとした産業で、ここでは「分離に係る技術」を想定している。具体的に言うと、開発してきた磁気力制御技術を基盤技術まで成長させ、製造業等へ普及させたいと思っているのである。現在は、福島汚染土壌の減容化を研究テーマの柱に据えているが、原子力分野のみならず、資源、環境、エネルギー、医療分野にまで展開できることが明らかになってきた。本稿では「基盤技術産業」をキーワードに実施してきた研究について紹介したい。

図1、図2に実施してきた開発テーマを時系列で示した。これらは装置開発であるため企業と共同で進めた研究である。

まず二〇〇〇年に太陽電池用シリコンのスライスに使用するスラリーの再生を実施した。粘稠性の研削オイル（スラリー）が砥粒（SiC）をワイヤーソーに付着させシリコンを研削しているのが、加工が進むにつれ加工性能が劣化する。これはシリコン加工粉の蓄積によるスラリーの粘度の増加、鉄粉の砥粒エッジへの付着による加工性能の劣化が原因であることを突き止めた。そこで劣化した砥粒を粘稠性スラリーから強磁場で除去する装置を開発した。なおシリコン加工粉は遠心分離で除去し所期の性能を達成した。

二〇〇一年から二〇〇四年には製紙工場廃水処理を実施した。製紙工場廃水の約80ppmの化学的酸素要求量（COD）を製紙工場内で再利用できる100ppm以下にすることが目的である。処理量は日量二千トンである。この開発の過程で、COD成分への磁気シーディングの手法を開発した。強磁性体の酸化鉄粉末（マグネタイト）を廃水に混合しCOD成分を吸着させる技術である。その後超電導磁石を利用した磁気分離装置で分離除去するシステムとした。また同様の技術で、二〇〇八年にはドラム缶洗浄排水の浄化装置を開発した。

医療応用も試みており、二〇〇五年から二〇〇六年には磁気誘導薬剤配送システムを検討した。体内の特定の臓器への薬剤集中を体外の磁場によって実現しようとする試みである。薬剤に見立てた100nmのマグネタイトを生体に投与し、体外からの磁場で誘導・蓄積するシステムである。図に示したのは、超電導磁石を手術アームに装着した様子である。プタ（体重36kg、体長1m程度）を利用した実験を実施し、良好な結果を得ている。

二〇〇二年にはセリア（酸化セリウム）のリサイクルシステムを開発した（図2）。セリアはガラスや液晶の研磨に利用されている研磨剤である。これら製品には最終工程でセリアによる研磨が必須であるが、セリアは研磨作業後、水処理の過程で

凝集剤とともに廃棄される。この廃棄スラッジからセリアを分別回収するシステムである。開発したシステムでは、磁場印加により常磁性媒体中で特定物質のみを浮上させる、磁気アルキメデス法を利用した。

二〇〇三年から二〇二五年には地熱資源（温水）利用のため、地熱水からのシリカの除去を行った。熱水は地下では高温高圧になっている。このためシリカをはじめとした各種成分が溶解している。しかし地上に出てきたときには溶解度が低下し、配管等を閉塞させ、大きな問題となっている。このシリカ除去を、磁気シーディング法を利用した磁気分離システムで実現した。

二〇二五年から二〇二六年にかけて（現在も継続中であるが）は、磁場を利用した福島汚染土壌の減容化について技術開発を行っている。また、二〇一三年からは火力発電所の給水中からの酸化鉄スケールの除去のための装置を開発している。これは火力発電所の熱効率低下の抑制を通してCO₂の発生低減を目指すものである。

ここで紹介した技術以外にも基礎研究は行われており、各方面の応用の可能性が示されている。基盤技術産業化はすぐここに来ていような気がしている。皆様のご支援、ご助言をお願いしたいと思います。

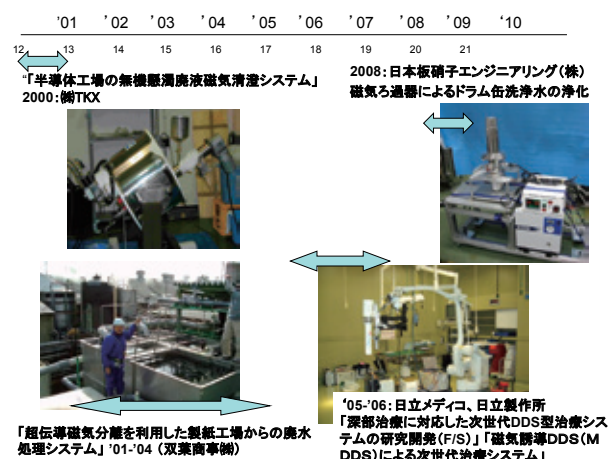


図1 2000～2010年



図2 2011～2020年

「研究室を訪ねて」

核融合原型炉概念設計検討への取組

原子力技術応用工学科 教授
伊藤 保之



人類究極のエネルギー源と言われる核融合の開発は現在どこまで進んでいるのでしょうか。核融合炉では磁場中において燃料である重水素と三重水素を加熱し、1億度級のプラズマ状態にして核融合反応を起させ、中性子とアルファ粒子（ヘリウムの原子核）を生成します。核融合エネルギーはこれらの粒子の運動エネルギーとして放出されるので、構造材原子と衝突させ熱エネルギーに変えてから発電を行います。

核融合開発の最前線では、日本、欧州、米、中国、インド、韓国の6極による国際協力でITERと呼ばれる

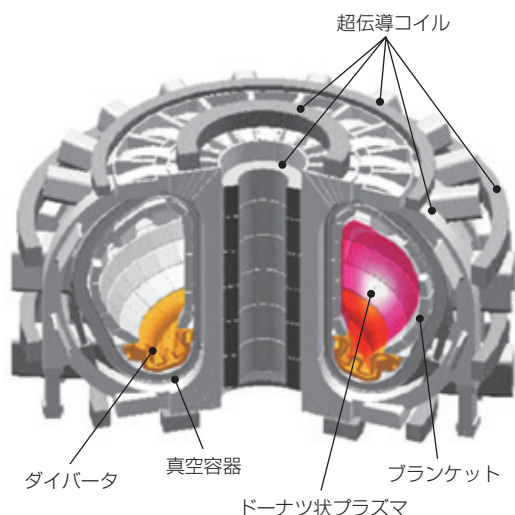


図1 国際熱核融合実験炉 (ITER) 装置図
出典: http://www.fusion.qst.go.jp/ITER/iter/page1_7.html

る国際熱核融合実験炉（図1）の建設が二〇二五年完成を目指して鋭意進められています。この装置は実際に核融合反応を起して500 MWのエネルギーを生み出します。また反応で生成した上述のアルファ粒子のみでプラズマを加熱し持続的に燃焼させることができる自己点火条件をクリアすることが目標となっています。実験炉の次の段階は、実用炉のひとつ手前の炉として位置づけられている原型炉です。

原型炉では、核融合発電実証を行うと共に、自然界にはほとんど存在しない燃料である三重水素を、プラズマの周りに置かれたブランケットと呼ばれる炉内要素に入れたリチウムに中性子を当てて生産します。核融合原型炉は中性子を桁違いの数で発生させるなど、その設計の困難さは実験炉の比ではありません。ここで核融合炉の重要要素の1つであるダイバータと呼ばれる装置に関わる当研究室での研究について紹介しましょう。

図1の下部にあるダイバータはプラズマ表面から漏れ出る高温のプラズマ粒子を磁力線で導き集めて排気するとともに、その熱エネルギーを回収・処理する装置です。なにしろ漏洩粒子はプラズマ表面上で非常に薄いシート状の流れになってダイバータに流入

するため、その表面の熱流束は1平方センチメートル当たり1 kW程度にもなってしまう。このためダイバータ表面は、その温度が簡単に二〇〇〇℃を超えてしまうことから高融点金属であるタングステン製のモノブロックで埋め尽くされています。高中性子照射下でこのような表面材料（プラズマ対向材料）を如何にして冷却し、材料の健全性を保つかが炉設計上の大きな課題の1つとなっています。

タングステンモノブロック（図2）は20〜25mmの矩形断面を有しておりその中央に冷却配管を貫通させ水を流して冷却します。ここで問題となるのは、モノブロックへの熱負荷がその上面のみ、すなわち片側からしか来ないため、円形断面の冷却配管内面の頂部に熱が集中し熱流束が表面での値の2倍近くになってしまうことです。高熱負荷にもかかわらず、配管と冷却水との境界面が伝熱面として有効に使われていないのです。この為、冷却水の必要流量は非常に高いものにならざるを得ません。

そこで、図2に示す如く、冷却配管頂部付近に熱伝導度の小さい材料（チタン合金）を用いた厚さ0.1mm程度の熱障壁層を置いて配管への直接的な熱の流れを妨げ、分散させること

を考えます。計算によれば、このような熱障壁層を置くことで、例えば伝熱面での最大熱流束が20%程度低減され、その結果、冷却水の流量を35%低減できると期待されます。

以上は数ある設計課題の1検討例を示したに過ぎません。原型炉は非常に過酷な条件下での運転を強いられるため、各炉内要素に生じる工学的課題をつひとつ解決していかねば、整合性のとれた炉設計を完結させることができないのです。核融合原型炉への道はまだ遠いと言わざるを得ません。

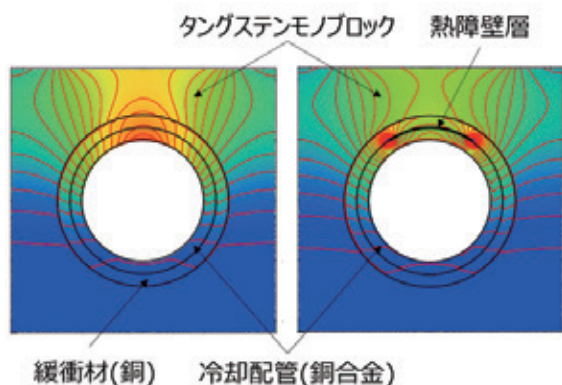


図2 タングステンモノブロック構成と内部の熱流束等高線図例
熱障壁層を設置してモノブロック表面から伝熱面への熱流を分散させます。

「研究室を訪ねて」

より最適な練習法を探して

スポーツ健康科学科
島田 茂 教授



「人の動きを観察する」

スポーツ現場では様々な情報を収集する必要があります。中でも人の動きに関する情報がその主要なものであることに疑いの余地はないでしょう。近年、ビデオやその映像の分析にコンピュータが用いられ、多くの情報からより詳細な分析が可能となり、指導助言も以前より具体的なデータを提示しながら実施することが可能となりました。しかし、情報量が増えたことによってパフォーマンス発揮における問題点の解決が容易になる場合と逆に新たな問題点が増える可能性もあります。

さて、得られる情報には、動作の方向・大小、スピードの遅速、リズム、タイミング、力の強弱など視覚的、空間的、時間感覚、筋感覚的な様々ですが、動きと同時に或いは、その前後の心理的情報も重要な場合があります。しかも、対戦相手と直接パフォーマンスを競う競技では相手の存在そのものがプレーヤーの精神面に影響を与える可能性も高まりま

す。そういう意味で人の動きを観察するときには「こころの動き」も観察することが大切になってきます。

「アドバイスを与える」

動き、方向、リズム、タイミング等はビデオ提示と簡単な言語指示でアドバイスが可能ですが、スピードや力の強弱などは視覚情報だけでは不足するのでこれらの情報を特異的に言語化できる能力が指導者に求められる一方で、プレーヤーにはこれらの情報をもとに動きやフォームを脳内で組み立て、イメージ化できる能力が求められます。最適な一言を探し出すにはより多くの経験知（時には暗黙知）が要求されます。プレーヤーの内省報告と観察あるいはビデオ分析結果から推測し、言葉探しをします。オノマトペです。同時にプレーヤーと指導者が同じイメージを共有化できていないと目的達成は不可能なのでプレーヤーとのディスカッションに十分な時間をかけます。必要に応じて科学的な運動の捉え方を解説し、動きとはどうい

うものか、筋肉の構造や機能はどうなのか、また、運動指令は脳でどのように組み立てられるか等を知識として共有できるように話し込んでいきます。

このようにして運動の成就、運動の上達過程を最適化するのにふさわしい練習方法を実験的にあるいはこれまでの研究成果を文献研究して探し出していくのが科学的分析と指導現場をつなぐ方法だと考えられます。ビデオ分析も指導方法として、スロー再生やコマ送り再生で多量の情報を提示する一方、少し情報量を少なくして、即ち、コマ落として提示する方が特徴を捉えやすくするケースもあります。

こういった考え方をトッププレーヤーの指導からジュニアの初心者まで幅広く運動学習に取り入れていきます。

右下の写真①②は二人のスタートのスピードが同じでも、準備状態の構えが変わるとスタートに差が出る例。

「指示の違い」

次に、左図①のプレーヤーに「膝を曲げなさい」か「ラケットをコート面に並行に」か？



「体育科教育」大修館書店2004.12より



①同じスタート



②構え（準備）の違いで差が！

「健康スポーツ科学の基礎」杏林書院2009より



インタビュー風景

左より 羽木教授、中城教授、大野氏、森島学長、池田副学長



インタビュー風景

左より 大野氏、青山先生

駐日英国大使館からの取材 期日：平成29年4月17日(月)～19日(水)

駐日英国大使館の大野 真美子氏 (当時:科学技術部エネルギー&先端技術担当) から取材を受けました。大野氏より「英国では、環境問題の観点から星空を守る保護活動が積極的に進められており、福井工業大学の“ふくいPHOENIXプロジェクト”と理念が一致している。」との挨拶があり、その後、本ブランディング事業を立ち上げた目的や活動内容についての紹介、宇宙に関する情報交換を行いました。なお、本取材内容は英国外務省広報誌にて特集掲載されました。掲載内容につきましては、特設ホームページをご覧ください。特設ホームページURL:www.fukui-ut.ac.jp/phoenix/

『宇宙』事業推進のために地域と協働する “ふくいPHOENIXプロジェクト”

本学の重点的な研究分野である『宇宙』と『地域貢献』を融合した大型プロジェクト研究“ふくいPHOENIXプロジェクト”が平成28年度に文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、平成28年度から5ヵ年計画で事業が遂行されています。

次の通り主な活動を紹介します。



坂本氏



講演会風景

宇宙産業振興に関する講演会の開催 期日：平成29年5月26日(金)

自由民主党・総合政策研究所 坂本 規博特別研究員をお招きし、「宇宙産業の振興に向けた宇宙利用の拡大」と題し、講演会を開催しました。

講演では、宇宙利用産業の振興に、(1) 宇宙データ利用の拡大が必要であり、(ア) データへのアクセス環境の改善、(イ) データ利用拠点の整備、(ウ) データ利用システムの国際展開が検討されている事に加え、(2) ロケットの新射場 (アジア宇宙輸送センター) の整備が検討されている事などを説明され、衛星データだけでなく地上データ等と組み合わせることで高次処理を施すことがビジネス化の鍵であることを話されました。

“ふくいPHOENIXプロジェクト”では、Twitterや特設ホームページにて様々な情報を配信しております。

Twitterのアカウント、特設ホームページのURLを紹介しますので、是非、フォローやアクセスして下さい。

■ Twitterアカウント名: @fpstart2016

■ 特設ホームページURL: www.fukui-ut.ac.jp/phoenix/

特設ホームページ
QRコード



学内奨学金制度紹介

奨学金区分		内 容
1	特待生奨学金 [H27年度以前入学者] 授業料50%減免 [H28年度以降入学者] 学納金50%減免	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上 ※博士前期課程1年生前期：学部の成績 それ以降は前学期の成績 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
2	[H27年度以前入学者のみ] 準特待生奨学金 授業料20% 減免	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.50以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
3	学習奨励金 [H28年度以降入学者] 5万円給付	対 象：学部2年次以上(博士前期・後期課程は対象外) 条 件：前学期の成績 GPA3.80以上かつ前学期の修得単位数 が15単位以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
4	育英奨学金 [H27年度以前入学者] 学納金50%減免 [H28年度以降入学者] 学納金30~70万円減免 [家計急変者] 学納金70万円減免 ※該当年度を適用	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年及び家計急変者 条 件：学業成績優秀であり、経済的理由により修学に困難が ある学生、又は本学の定める家計急変事由が発生した 学生 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
5	[H27年度以前入学者のみ] 学生生活奨学金 月額3万円給付 ※該当年度を適用 (前期なら前後期、 後期なら後期のみ)	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年 条 件：経済的理由により修学に困難がある学生、学期末まで の成績 GPA 評価2.80以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
6	スポーツ特待生 奨学金 大会成績等により 学納金又は授業料減免 ※最大4年間。 ただし継続審査あり	対 象：スポーツ・吹奏楽推薦入試による入学予定者及び学部、 大学院全学年 条 件：本学の規程による
7	災害特別奨学金 被害状況により 学納金等減免 又は災害援助金支給	対 象：入学予定者及び学部、大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時(ただし、被災日より1年以内)
8	兄弟学費減免 奨学金 最年少にあたる学生の 学納金50%減免	対 象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍している最年 少の学生 条 件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍していること 募集期間：毎年4月
9	外国留学奨励 奨学金 学納金の半額を上限に、渡航 費、生活補助費または、留学先 学費の一部補助	対 象：本学学部生2年次以上または工学研究科1年次以上の 者で交換留学生又は認定留学生である者 条 件：本学の規程による
10	大学院進学奨励 奨学金 (第1種) 学納金の50%減免 (第2種) 国立大学大学院授業料 標準額と本学学納金と の差額を減免	対 象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者 条 件：本学の規程による
11	離島・沖縄県 出身者支援奨学金 国立大学標準額と本学 学納金との差額を減免	対 象：本学の規程による 条 件：本学の規程による ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り
12	特別奨励金 資格取得もしくは優秀な 成績を修めたクラブ等に 奨励金支給	対 象：学部・大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時

後期行事予定

月	日	行 事	月	日	行 事
9月	19日～22日	後期受講登録ガイダンス	1月	9日	授業再開
	25日	後期授業開始		中旬	学園成人式
10月	7日～8日	大学祭		上旬～下旬	卒業研究発表会
	9日	大学祭 後片付け	2月	5日～	春季休業
12月	26日～	冬季休業	3月	15日	学位記授与式
1月	～6日			31日	春季休業終了 学年終了

後期受講登録ガイダンス ネットワークセキュリティ講習会について

9月19日	9月20日	9月21日	9月22日
火	水	木	金
1年生	2年生	3年生	4年生

ガイダンスの持ち物

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 学生便覧 | 4. 筆記用具 |
| 2. 学生証 | 5. ノートパソコン、電源ケーブル |
| 3. アカウントカード | 6. LAN ケーブル |

ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

	問い合わせ先	メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学 び (教 務 関 係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (図書課)	tosyokan@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2403 (学習支援室・教職支援室)	gakusyu@fukui-ut.ac.jp
暮 ら し (学生生活関係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	(医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
進 路 (大学院進学関係)	0776-29-7871 (入学課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進 路 (就 職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661 0776-29-7834 (社会連携推進課)	shakai-u@fukui-ut.ac.jp futcrc@fukui-ut.ac.jp
セ ン タ ー 管 理 課	0776-29-2671	
情 報 シ ス テ ム セ ン タ ー	0776-29-7873 (電算管理課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出 納 (学費納入関係)	0776-29-7854	
あ わ ら キ ャ ン パ ス	0776-79-0111	

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

医務室からのお知らせ

充実した学生生活を送るためには、心身共に健康であることが大切です。
『自分の健康は自分で守る』事ができるよう、医務室では学生の皆さんの健康のサポートをしています。

場 所 大学2号館1階 学務課の隣 (2号館自動ドア入ってすぐ左)
開室時間 平日:月～金 8:30～17:30
スタッフ 看護師1名
そ の 他 車椅子1台、担架2台、AED1台を設置しています。

【利 用 案 内】

1. 病気やケガの応急処置、医療機関紹介

体調がすぐれないときや、ケガをしたときの応急処置等を行います。また、体調が回復するまでしばらく休養したい、持病があるため授業の空き時間に休養したい等の時に利用することも可能です。

2. 学生定期健康診断

学校保健安全法に基づき、学生は必ず全員受けなければならない義務があります。また、健康診断証明書を発行するために必要となります。特に3年生、4年生、大学院生は就職活動で必要になる場合があります。

3. 健康相談 (身体・こころ)

学生生活での不安や悩みなどについて随時対応します。

4. 健康チェック

5. その他

献血・AED講習会・インフルエンザ予防接種
インフルエンザ予防接種については後援会からの補助金もあります。

平成29年度 秋季保護者個別懇談会の ご案内



教職員との親睦・交流の場として、保護者個別懇談会を開催いたします。

学修状況、就職、学生生活等についてお気軽にご相談下さい。

多数のご出席をお待ちしております。

10/7 土

13:00 ~ 16:00

- 会 場** 福井工業大学 福井キャンパス
大学2号館
- 受 付** 大学2号館1F 学生ロビー
- 参加方法** 事前申込制
- 申込方法** 福井工業大学 庶務課へ
電話もしくは、E-mailにて
電話：0776-29-7864
E-mail：syomu-u@fukui-ut.ac.jp
- 申込期日** 平成29年9月29日(金)

同日に大学祭を開催しております。
ランチチケットと致しまして、大学祭模擬店
にて利用できるチケットを御配り致します。

内 容

■ 学業、就職、学生生活、大学院進学、
カウンセリング等に関する相談について

- ・懇談順は、申込順とさせていただきます。
- ・教員手配や資料準備等がございますので、
事前申込をいただきますようお願い致します。
- ・懇談開始時刻は、10月2日以降に事務局より
随時連絡を致します。

福井工業大学後援会規約

【第1章 名称及び目的】

第1条 1本会は、学校法人金井学園福井工業大学後援会と称する。

2事務局は、福井工業大学事務局に置く。

第2条 本会は、福井工業大学の繁栄を期し、会員相互の連絡親睦を図ることを目的とする。

【第2章 目的】

第3条 本会は、その目的を達成するために次のことを行う。

(1)大学の運営に寄与する事項

(2)学生の福利厚生増進に寄与する事項

(3)会員相互の連絡親睦を図る事項

(4)その他、会目的に必要な事項

【第3章 会員】

第4条 本会の会員は、正会員、賛助会員とする。正会員は、福井工業大学に在学する学生の親又は親族とする。賛助会員は、本会の趣旨に賛同する者とする。

【第4章 役員及び顧問】

第5条 1本会に、次の役員を置く。

(1)会 長 1名

(2)副会長 2名

(3)理 事 若干名

(4)監 事 2名

2 役員任期は、1年とし再任を妨げない。

第6条 会長、副会長、監事及び理事の選出は、役員会で選考し、総会において決定する。

第7条 1 賛助会員は、役員会において必要に応じて選考し、会長がこれを任命する。

2 顧問は会長が、学識経験者又は在学生の親若しくは親族が公職等にある者に委嘱する。

第8条 1 会長は、本会を代表して会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。

3 監事は、会計を監査して総会に報告する。

4 理事は、会長の命を受け会務を処理する。

【第5章 総会及び役員会】

第9条 1 定例総会は、毎年1回行う。会長が必要と認めたときは、臨時総会を開くことができる。

2 総会の議長は、会長がこれに当たる。

3 役員会は、会長がこれを招集する。

4 総会は、会員総数の3分の1以上の出席をもって成立する。

5 総会の決議は、出席会員の過半数をもって成立する。

6 総会の審議事項は次のとおりとする。

(1)役員承認

(2)決算承認

(3)予算審議

(4)事業報告

【第6章 会計】

第10条 1 本会の経費は、会費及び寄付金をもって充てる。(会費については、別に定める。)

2 会計年度は毎年4月に始まり翌年3月に終わる。

附 則

この規約は、昭和43年5月16日から施行する。

平成7年5月22日改正

平成14年5月11日改正

平成18年5月20日改正

Canvas

第54回福井工業大学大学祭

平成29年 10月7日(土) 8日(日)

主催：福井工業大学 大学祭実行委員会
お問い合わせ先：学務課 ☎ 0776-29-7867

目玉企画

- ・トレジャーハント
- ・YOSAKOI
- ・BINGO
- ・縁日
- ・キャンパスプロジェクト
- ・オリジナルTシャツ作り

その他いろいろな企画を催しています。
皆さまのご来場お待ちしております。

トークショー 10/7(土)

ぺこ・りゅうちえる

- ・会場 大学内金井講堂
- ・開場 15:00
- ・開演 16:00



チケット発売

9月4日(月) より一般プレイガイドにて発売
ローソンチケット(Lコード): 57204

お近くのローソン店頭 Loppi でも
お買い求めいただけます。